



第65期 中間報告書

平成26年4月1日～平成26年9月30日

日本アビオニクス株式会社

証券コード：6946

CONTENTS

- ごあいさつ
- セグメント別の概況
- トピックス
- 株式の状況
- 会社の概況
- 株主メモ

ごあいさつ



代表取締役執行役員社長

秋津 勝彦

当上半期の事業環境につきましては、緩やかな回復傾向で推移したものの、民間設備投資や輸出が伸び悩み、円安により輸入価格が上昇し、消費税引上げ前の駆け込み需要の反動により個人消費に弱さが目立つなど先行きが不透明な状況となりました。

上期の業績について

当社グループの民需事業は、海外市場の開拓も含め積極的に展示会に出展するなどし、新規顧客の獲得に努めたものの、顧客が設備投資を抑制したことにより、また宇宙・防衛事業については、情報システムの補正予算等の効果が減少したことにより、当上半期における売上高が前年同期比13億42百万円減少の115億97百万円（前年同期比10.4%減）となりました。

損益に関しましては、売上高の減少等により、営業損失が1億96百万円悪化の1億3百万円、経常損失が1億96百万円悪化の1億53百万円、中間純損失が3億48百万円悪化の2億19百万円となりました。

配当につきましては、誠に遺憾ながら普通株式中間配当金、第1種優先株式中間配当金および第2種優先株式中間配当金について無配とさせていただきます。株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

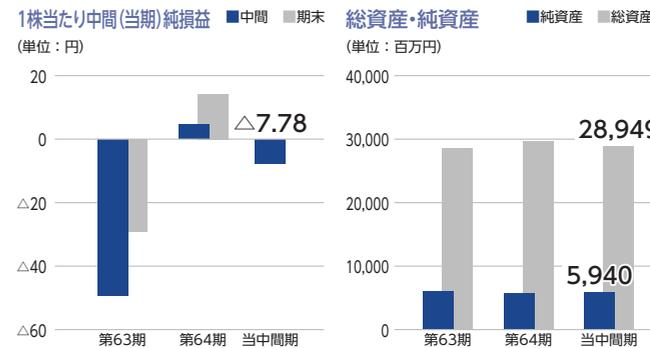
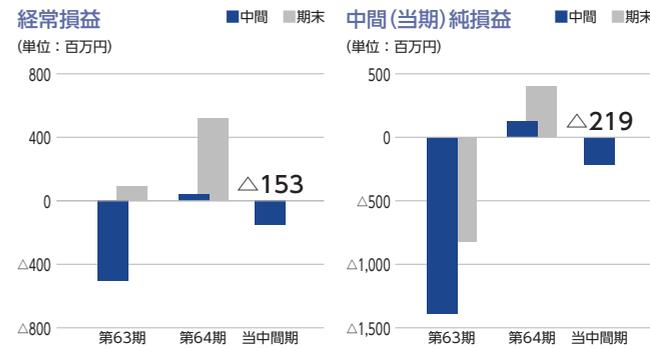
株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第65期上半期（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）の事業概況等についてご報告申し上げます。

当上半期の事業環境につきましては、緩やかな回復傾向で推移したものの、民間設備投資や輸出が伸び悩み、円安により輸入価格が上昇し、消費税引上げ前の駆け込み需要の反動により個人消費に弱さが目立つなど先行きが不透明な状況となりました。

連結財務ハイライト

売上高	11,597	百万円	(前中間期 12,939百万円)
営業損失(△)	△103	百万円	(前中間期 93百万円)
経常損失(△)	△153	百万円	(前中間期 43百万円)
中間純損失(△)	△219	百万円	(前中間期 128百万円)



セグメント別の概況

■情報システム

売上構成比率 **59.5%**

■売上高 **68億98百万円**
前年同期比 **8.8%減**

■セグメント利益 **1億28百万円**
前年同期比 **1億83百万円悪化**

前年度にあった補正予算の効果が減少したため、売上高・セグメント利益ともに前年同期を下回りました。



■プリント配線板

売上構成比率 **13.5%**

■売上高 **15億70百万円**
前年同期比 **9.7%減**

■セグメント損失(△) **△83百万円**
前年同期比 **53百万円悪化**

プロジェクトの遅れや高付加価値製品に集約を進めたことから売上高・セグメント損失ともに前年同期を下回りました。



■電子機器

売上構成比率 **27.0%**

■売上高 **31億27百万円**
前年同期比 **13.9%減**

■セグメント損失(△) **△1億48百万円**
前年同期比 **39百万円改善**

情報機器市場の設備投資の抑制等により、売上高は前年同期を下回りましたが、セグメント損失は、費用削減に努めた結果、改善しました。



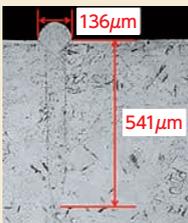
トピックス

新製品 ファイバレーザ溶接機 LW-F300

スマートフォンをはじめとする情報機器やエコカーの需要増加に伴い軽量化・エレクトロニクス化が加速する自動車向けの、電子部品・二次電池・燃料電池などの製造において、金属材料の微細溶接を行う、空冷・卓上タイプのレーザ溶接機を8月に発売いたしました。



近年需要の高まっている非接触レーザ溶接機の中でも、ファイバレーザ溶接機は光束径が細く(12μm*)エネルギー密度が高い特長を持つことから、細く、深い溶接が可能です。これにより微小な溶接物や反射率の高いアルミや銅の薄板などを高品質に溶接することができます。

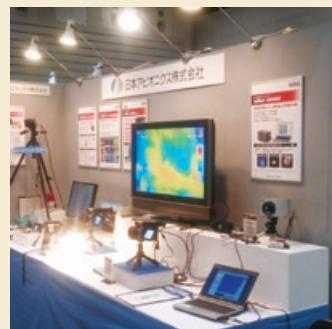


*1:1μm(1マイクロメートル) = 1000分の1mm

展示会 画像センシング展2014

画像処理に関する機器およびシステムを中心とする展示会「画像センシング展2014」に出展いたしました。パシフィコ横浜で6月11日～13日に開催され、14,725名の来場者がありました。

当社は、研究・開発分野の問題解決手法の展示をコンセプトに、微小面温度計測、特殊な計測(ガラス越し、炎越し)、監視(発火監視)を支援する赤外線サーモグラフィカメラ(InfReC R500シリーズなど)を展示いたしました。期間中は、多くの研究開発や品質管理を行う技術者に当社ブースへお越しいただきました。

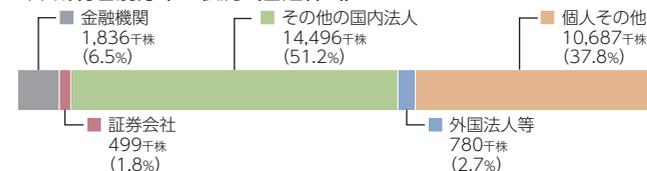


株式の状況 (平成26年9月30日現在)

	普通株式	第1種優先株式	第2種優先株式
(1) 発行可能株式総数 80,000千株	76,000千株	4,000千株	1,500千株
(2) 発行済株式の総数 30,600千株	28,300千株	800千株	1,500千株
(3) 株主数	3,155名	1名	1名

(注) 第1種優先株式および第2種優先株式は、日本電気株式会社 が全株所有しております。

(4) 所有者別分布の状況 (普通株式)



会社の概況

会社の概況 (平成26年9月30日現在)

■ 商 号 日本アビオニクス株式会社

■ 英文商号 Nippon Avionics Co., Ltd.

■ 設 立 昭和35年4月8日

■ 資 本 金 58億95百万円

■ 従 業 員 数 1,105名 (連結) 783名 (単独)

■ 証券コード 6946

拠点および事業所

本社、横浜事業所、新横浜事業所、府中支店、中部支店、西日本支店、熊谷営業所

子会社

山梨アビオニクス株式会社、福島アビオニクス株式会社、日本ヒューチャア株式会社、SOLTEC, INC.

役員の状況 (平成26年10月1日現在)

取締役

代表取締役 秋津勝彦 執行役員社長 秋津勝彦

取締役 露木満 執行役員常務 井川裕三

取締役 齊藤幸夫 執行役員 露木満

取締役 新井孝男 執行役員 齊藤幸夫

取締役 西村知典 執行役員 土川稔

取締役 延岡健太郎 執行役員 新井孝男

取締役 望月愛子 執行役員 木内一雄

執行役員 竹内正人

執行役員 橋本隆

監査役

監査役(常勤) 清水敏夫

監査役(常勤) 鈴木智雄

監査役 伊藤茂樹

監査役 松本康子

(注)

1. 西村知典、延岡健太郎および望月愛子の各氏は社外取締役であります。
2. 鈴木智雄、伊藤茂樹および松本康子の各氏は社外監査役であります。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要のあるときはあらかじめ公告します。
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL) <http://www.smbt.jp/personal/agency/index.html>
- 公告の方法 当社のホームページに掲載します。
<http://www.avio.co.jp/ir/index.htm>
ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

- 証券会社に口座を開設されている株主様
⇒ 口座のある証券会社宛にお願いいたします。
- 証券会社に口座を開設されていない株主様
⇒ 上記電話照会先をお願いいたします。

当社ホームページのご案内

ホームページにて最新のIR情報等をご覧ください。

<http://www.avio.co.jp>

日本アビオ

検索



日本アビオニクス株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田八丁目1番5号
TEL. 03-5436-0600 <http://www.avio.co.jp>

